

当院は医師、医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進を行っています



2022 年 10 月 28 日改訂

業務区分		業務内容
医師業務	当直について	医師は連続当直を行わないこととする。
医師業務	診断書・主治医意見書等の作成補助	医師事務補助・医療連携職員・診療情報管理士を配置し、文書作成、問診票など患者基本情報の電子カルテへの入力補助やがん登録についての入力補助、医療情報の統計業務の補助を行う。
医師業務	外来診療予約入力について	医師事務補助者が次回予約の入力補助を行っている。
医師業務	診療報酬請求書の作成	医事課にレセプト点検システムを設置し、基本項目・情報などのチェックを行うことにより業務補助を行う。
医師業務	退院調整業務	退院調整担当の看護師と病棟担当の社会保険福祉士（SW）で退院調整業務を行っている。
医師業務	救急外来初期対応	救急看護認定看護師が初期対応する。
医師業務	地域連携クリティカルパスの導入	MSW が運用の補助を行い、地域医療機関と連携し大腿骨頸部骨折、脳卒中、PCI の連携パスを運用している。
医師業務	がん地域連携パスの導入	外来クラークが補助を行い、がん地域連携パス（大腸・胃・肺・肝・乳房）の導入・運営を行っている。
医師業務	医師事務補助者配置	診療報酬 20：1 の施設基準を維持し医師の事務作業負担を軽減する（外来における診療録の代行入力・各種オーダーの代行入力・書類作成）
医師業務	予定手術前日における医師の当直や夜勤に対する取組	複数医師確保により当直予定の作成において予定手術前日の当直に配慮を行っている。
医師業務	当直等翌日の予定手術に関する取組	当直等翌日の予定手術において、複数医師の確保及び計画により全ての診療科で 12 日以内を目標としている。
医師業務	臨床試験・研究業務	治験コーディネーターを配置し、被験者のスクリーニングや報告書作成のためのデータ収集を行っている。
医師業務	診療支援	診療看護師を配置し、院内で診療業務看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲等を定めた手順書を作成し、医師の業務軽減を行う。
医師業務	静脈注射及び留置針によるルート確保	看護師が日本看護協会の指針に基づき作成した院内指針により実施している。
医師業務	特定行為看護師の育成・配置	特定行為区分別：創部ドレーン管理関連/腹腔ドレーン管理関連/栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連/の特定看護師を配置し業務を行っている。
医師業務	CT/MRI・RI	検査前の同意書取得・副作用説明・問診、造影剤の注入確認、抜針・止血を看護師・診療放射線技師が行っている。造影剤の手技前ルート確保を看護師が行っている。
医師業務	IVR	手技前回診での検査説明、手技前ルート確保、シース抜去後の止血補助、IVR（画像下治療）助手・IVR（画像下治療）手技前の尿道カテーテル留置を看護師が行っている。
医師業務	皮下埋め込み式 CV ポートの穿刺	看護師が行っている。
医師業務	SPP（皮膚灌流圧）測定	臨床検査技師が行っている
医師業務	手術関連	術中抹消ルート確保、薬剤・薬液準備、バイタルサイン・処置記録を手術室看護師が行っている。
医師業務	血管撮影・血管内治療の補助	血管撮影・血管内治療後の圧迫止血・止血確認・圧迫解除、血管内治療の介助業務（血管撮影における圧迫止血・止血確認・圧迫解除を含む）を看護師が行っている。
医師業務	周術期関連	術後ラウンド、術後疼痛管理を看護師が行っている。
医師業務	創管理	創管理（ドレッシング抜去、抜糸）体表面の切創・挫創の洗浄を看護師が行っている。
医師業務	胃管	胃管の挿入・管理 ・抜去を看護師が行っている。
医師業務	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内での診療補助	病歴聴取、バイタルサイン測定、その結果より軽症と中等症・重症のトリアージ等看護師が行っている。
医師業務	リハビリテーション	保険診療に関係する各種書類の説明、非侵襲的検査の検査説明・同意書の取得、交付業務（リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等）を看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が行っている。
医師業務	病棟での検査オーダーの代行入力	定型の血液検査の指示（代行）入力や医師が予め指示した状態像に該当するかを判断して、指示されていた検査（採血・培養検査・レントゲン検査など）の代行入力を看護師が行っている
医師業務	超音波検査	（表在における）各種超音波検査を臨床検査技師が行っている。
医師業務	投薬オーダー	処方薬の変更・他院持参薬の処方（代行入力）を薬剤師が行っている。
医師業務	医薬品関連情報の管理	処方歴や薬物アレルギーの有無等の医薬品関連情報について、医師の診療情報提供書の作成支援を薬剤師が行っている。
医師業務	人工呼吸器	ウィーニング・使用時の吸引による喀痰等の除去を臨床工学技士が行っている。
看護業務	ベッドメイキング	退院後の空きベッド及び離床可能な患者のベッドについて看護補助者が行う。
看護業務	病棟患者の食事配膳	病棟に配属された看護補助者が配膳の補助を行う。
看護業務	認定看護師の配置	専門外来において認定看護師等が指導・相談補助を行う。
看護業務	看護師による入院中の療養生活に関する対応	医師の指示に沿った看護ケアについては専用シートに明記し、それに沿って各自又はチームで情報共有を行い実施している。
看護業務	採血管配布・検体回収	各病棟の検体回収について、ナースステーション内に設置しているリフトを使用し検査室へ運んでいる。
看護業務	物品の管理について	SPD システムを使用し補充対応など、事務員・外部業者などが補助を行っている。
医師／看護業務	静脈血等の採血	外来患者については、検査部採血窓口にて行っている。
医師／看護業務	初診時の問診	初診時に MSW や医師事務補助者にて問診を行い、その内容を電子カルテに入力している。
医師／看護業務	患者への呼出し（PHS による呼出しシステム）	PHS 端末を外来患者へ貸与し診察室・検査・XP 室などへの案内の業務補助を行う。
医師／看護業務	医療機器の効率的な中央管理・オンコール体制	臨床工学技士が医療機器の中央管理を実施し使用時の補助、定期的な安全管理を行っている。また緊急透析・心カテ・内視鏡など 24 時間補助体制をとっている。
医師／看護業務	入院患者の持参薬確認	病棟担当薬剤師により、入院患者の持参薬等確認を行っている。入院前に薬剤師が事前に持参薬等確認を行っている。
医師／看護業務	服薬指導	病棟担当薬剤師により、服薬指導や内服情報と医薬品の副作用情報などをチェックし医師・看護師への情報共有を行う。
医師／看護業務	医薬品情報の集約と情報共有	新規採用薬・添付文書改訂情報、副作用情報等の医薬品情報を薬剤部より院内ウェブやデジタルサイネージなど使用し情報共有を行っている。
医師／看護業務	抗がん剤の無菌製剤処理、抗がん剤治療計画の確認	専任の薬剤師による抗がん剤の無菌製剤処理・抗がん剤治療計画の補助など行っている。
医師／看護業務	外来の診療補助	外来クラークを配置し、入院や検査の説明や診察室への呼び込みなど診療補助を行っている。
医師／看護業務	診療負担軽減	完全予約制と初診時選定療養費の設定、診療受付時間を午前 11 時までとし受診抑制による医師と看護師の業務負担軽減を行っている。
医師／看護業務	助産師外来の設置	正常な経過の妊婦さんの健康診査と保健指導を、助産師が自立して行い、妊婦さんの多様なニーズに応え、地域における安全・安心・快適なお産の場を確保する
医師／看護業務	時間外選定療養費の設定	時間外の救急外来診療において、緊急性のない病状もしくは重篤な病状でない方について、当院での受診を控えていただくこととし、受診される場合には特別料金のご負担をお願いする。
医師／看護業務	入院時支援	入院時支援選任看護師を配置し、入院前から入院に関する説明・支援を行う。
医師／看護業務	手術関連	手術の器械出し、術後各種機器の回収・保守点検、麻酔科医が術前術中に行う麻酔管理の補助を臨床工学技士が行っている。
全職員	病児保育室の設置	院内にて職員用の病児保育室を運営している。
全職員	短時間雇用の活用	育休後など、復帰する職員において短時間での就労を希望した場合、時間に合わせた就労を認めている。

